添削ワークシート（作文編 解答）

【1】【2】の解答を確認しましょう。

【1】以下の添削例を参照し、自分自身がどこまで添削できたか確認しましょう。文言が完全に一致する必要はありません。

【2】各段落の役割は以下の通りです。

- ●第一段落（序論）：テーマに対する筆者の考えを明確に述べている。
- ●第二段落（本論①）：考えの根拠として、テーマに沿った実際の出来事を説明する。
- ●第三段落（本論②）：考えの根拠として、筆者が起こした行動や成果を説明する。
- ●第四段落（結論）：説明してきた考えを踏まえて、今後や将来への展望を述べている。

【より詳しく学びたい場合・・】

今回のワークで添削できなかった項目には、以下の課題・対策が想定されます。
自身の課題を理解し、文章作成の訓練・対策を始めましょう。

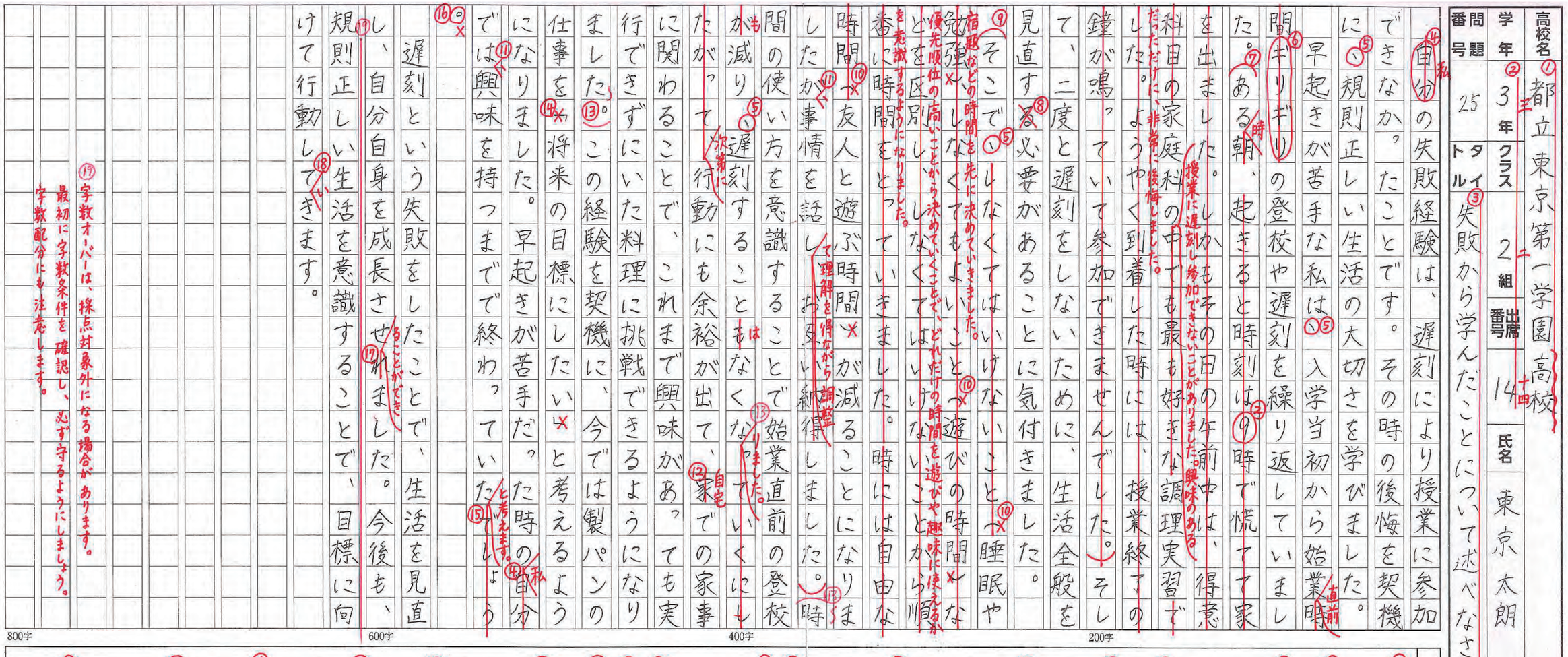
【1】②、④～⑥、⑧～⑱／【2】（段落の役割）

⇨ **原稿用紙の使い方や言葉の選び方など、基礎的な文章の書き方を学ぶことが必要です。**

【1】③、⑦／【2】（作文の段落構成）

⇨ **進路作文の要点や組み立て方など、作文の考え方を学び、実際に記述する訓練が必要です。**

※ワークシートの構成上、問題番号化されていない修正箇所もあります。あわせてご確認ください。



添削欄

④ 高校名は「東京都立第一学園 高等学校」と正式名称で記入します。

② 縦書きの場合は、必ず漢数字を用います。

③ タイトルは、テーマとは異なります。設問文をそのまま記入するのではなく、本文の内容に合わせて自分の言葉で記しましょう。

④ 一人称は「私」で統一します。「僕」や「自分」は用いません。

⑤ 句読点「。」「、」はマスの右上に正しく書きます。

⑥ オノマトペ（擬態語、擬音語など）は用いません。
×「ギリギリ」
○「余裕がない」「直前まで」など
文脈に沿って、適切な語句を用いるようにします。

⑦（）内 六～十行目
余分な情報や不要な語句は削り、簡潔にまとめることを心がけましょう。

⑧ × 書きまちがい

⑨（）内 十三～十八行目
簡潔にまとめましょう。
近接同語（同じ言葉の繰り返し）は、なるべく避けます。

⑩（）括弧は用いません。

⑪ 読点を打ちます。

⑫ ×「家での家事」
二重表現になります。

⑬ 一文が長くならないように注意します。
一文で一つの意味・内容を述べるつもりで、短くまとめましょう。

⑭ 人の言葉を「」で引用すること、語句を「」でくくることは望ましくありません。

⑮「～でしょう」「～だろう」などは、あいまいな表現になります。
「～です」「～と考えます」といった形で断定しましょう。

⑯ 句読点は、行頭に置くことができません。
前行末のマスの文字と一緒に書きます。

⑰ ×「～させれました」
○「～させられました」
「ら」抜き言葉に注意します。
ここでは、「させることができました」と表すのが適切です。

⑱ ×「～してきます」
○「～していきます」
「い」抜き言葉にも注意しましょう。

株式会社さんぽう